

■むかわ町復興応援フェスタに参加しました

・日 時：2023年11月26日（日）10：00－16：00
・会 場：むかわ町四季の館

「むかわ町復興応援フェスタ」に、キャリアデザインラボ（CDL）の学生7名が参加しました。当イベントは、本学が包括連携協定を締結しているむかわ町で「楽しく学ぶ！」をコンセプトに、防災意識の向上、震災復興の加速を目的として開催されており、本学はイベントの主催であるむかわ町復興応援フェスタ実行委員会の構成団体として昨年度より参画しています。2年目の今回は、防災や防寒に関するグッズ等の展示に加え、キャリアデザインラボの学生が企画した、かんたん防災グッズの製作体験ブースを出展しました。こどもから大人まで幅広い世代のむかわ町民との触れ合いやボランティアで参加していた鶴川高校生との交流を楽しむ様子が見られました。また、学生たちはさまざまなブースやコンテンツに参加し、防災に関する知識を得たり、防災意識を高めることができましたようです。



キャリアデザインラボ企画 かんたん防災グッズ製作体験ブース「新聞でスリッパを作ろう！」

キャリアデザインラボの学生が1ヶ月前から準備してきた体験ブースは大盛況でした。参加した町民の方からは、「震災時には床に散らばったガラスで足を切った。それ以降、枕元に必ずスリッパや履物を用意しているんです」と、日頃から行っている防災についても教えていただきました。



ボランティアで来ていた鶴川高校生と学生。9/24にむかわ町で開催されたグルメフェスタでは、吹奏楽のステージで一緒に同じ楽器を演奏した2人。うれしい再会となりました。



学生と一緒に作ったスリッパを履いて笑顔で記念撮影。2人にとって楽しい思い出になっていたら幸いです♪

本学教員×ニッポンスリッパ株式会社 共同開発「ぎゅっぱー」展示

本学の岩本正姫先生と土肥崇史先生が監修した足ゆびのくーぱー運動により足の表面温度の上昇を促すルームシューズ「ぎゅっぱー」を展示しました。「今買える？いくらなの？」など購入を望む声も多くなりました。



防災グッズ展示

▼（手前）新聞で作成した防災グッズ
（奥）ダンボールベッド

▼たためるヘルメット“タタメット”



参加した学生の声

地域共創学群1年 精進 菜絆さん

むかわ町の方々はとても優しいばかりで沢山お話ができ楽しかったです。実際に震災を経験し被害を受けた方のお話も聞くことができ、勉強になりました。またとても説得力があり、防災に対して知識と準備をしっかりしておこうと改めて感じました。運営する側での参加でしたが、他ブースで体験したり、イベント自体も楽しませていただきました。

地域共創学群1年 伊達 誠真さん

準備で自分自身の防災に関する知識や意識が強くなりました。当日は色々な体験ブースや講演会などがあり、以前の地震からしっかり学んで様々な人が防災意識を高めていると思いました。

経営学専攻2年 甚野 菜緒さん

当日参加できなかったのですが、準備等に携わり、新聞紙で様々なものが知れたのは今後に役立つと感じました。また、作る過程で撮影をお願いしたり、何を作るか考えるのも楽しかったです。

ロシア語専攻2年 吉田 大朗さん

準備期間中は新聞紙を使った防災グッズ作成に向け、それぞれが隙間時間を使いながら資料調査と検証を行い防災グッズを作成することができました。

経営学専攻2年 山館 奈央子さん

昨年に引き続き参加させていただいて、むかわ町の皆さんの温かさを感じました。今年は私たちが体験ブースを企画運営させていただき、どうすれば皆さんに楽しんでいただけるか考える時間がとても楽しかったです。

経済学専攻3年 大野 茜季さん

災害時の知識がない状態から準備を始めました。当日皆さんとコミュニケーションをとる中で、ビニール袋やダンボールがあればさらに耐久性が上がるといったお話がいくつか挙がりました。実際に災害を経験した方々からリアルな指摘をいただき、とても貴重な時間だったと感じています。災害時は多方面への対策をしっかりして、備えたいと思います。

経営学専攻2年 伊藤 侑華さん

むかわ町の方は優しい方が多く、大学生の私たちにも気軽に話しかけて下さりとても良い交流の機会になりました。事前準備からタイトめなスケジュールの中、無事終わられて良かったです。

主催者代表からのコメント

NPO法人marge 理事長 岡松 諒さん

ご参加頂いた札幌大学の皆様、ありがとうございます。むかわ町は、災害に強い町づくりを目指しています。その活動の1つとして、当イベントを更に充実したものにして参りたいと思っておりますので、今後も柔軟な発想や行動力で地方自治体の活性化へご協力ください。来場者への学生の皆様の温かい対応に心から感謝申し上げます。

